

# [鈴木みきお] 県政報告

|  |          |                  |          |
|--|----------|------------------|----------|
| <b>雪</b>   | <b>害</b> | <b>対</b>         | <b>策</b> |
| <b>特</b>   | <b>集</b> | 平成26年3月<br>[特別号] |          |
| 発行者 / 鈴木みきお<br>〒404-0044 山梨県甲州市塩山下塩後627<br>TEL 0553-33-3676 FAX 0553-33-3668<br>E-Mail : mikiooo16@yahoo.co.jp |          |                  |          |



2月23日に雪害視察のために来県した林芳正農林水産大臣に被害状況を報告



豪雪から1カ月余を経過した今もなお、民家の日影には残雪が見られます。まさに経験のない大雪でした。不幸にも亡くなられた方もおりました。改めてご冥福をお祈りいたします。さらに、農業を中心に前例のない被害が発生、とりわけ私たちの峡東地区ではブドウハウス倒壊を中心に深刻な被害に見舞われました。重ねてお見舞いを申し上げます。

雪が止む直後から事態を深刻に受け止めた自民党県支部連合会では、いち早く緊急対策に着手、私は峡東地域の責任者として、奔走の毎日となりました。本格的な春を迎える中、完全復旧には至りませんが、この間における私たちの活動の内容をご報告いたすとともに、災害復旧に関する皆様のご意見をお待ちしております。

鈴木みきお

## 県史上かつてない豪雪災害

2月14日未明から降り始めた雪は、翌15日午前10時頃まで止むことなく降り続き、甲府市で積雪114センチ、河口湖では143センチを記録しました。県内では明治27年に観測が始められて以来の積雪量でした。未曾有の豪雪は、本県全域を文字通り「陸の孤島」と化し、中央自動車道、JR、主要国道、県道は通行不能となり、何百台もの車が立往生、生活道路も寸断され県民生活に前例のない混乱を生じさせました。各地域から断片的に入ってくる情報は、農業被害をはじめ、不幸にも亡くなられた方も含まれるなど深刻さを極めました。

この危機的状況を踏まえ、自由民主党山梨県支部連合会は2月17日、自民党県連会館内に「自民党山梨県連雪害対策本部」（本部長・清水武則）を設置、同日開設された県の災害対策本部への支援のため、党所属国会議員、県議会議員と県との緊密な連携体制を整えま

した。以後、県内地域ごと所属県議への被害報告の要請、それに伴う、党所属国会議員への協力要請、政府と与党自民党への支援要請等々に奔走いたしました。

政府とその与党自民党を底支えする立場にある県支部連合会は、地域支部～県議～国会議員の組織を通し全力投球で今回の災害に対応いたしました。完全復旧への道のりは農業被害を中心に、まだこれからの状況ではありますが、今後も組織の総力を挙げて取り組んでいく覚悟であります。とりあえずは豪雪以来数週間の県連の活動についてご報告させていただきます。



### 雪害対策1 2月17日月

#### 「県連雪害対策本部」を設置

14日未明から降り始めた雪は、15日午前10時頃止んだものの甲府は114センチというすぐには信じられない記録が発表された。この間、交通機関のマヒなどにより情報は混乱したが、各地の県連所属議員の間では「ただごとではない」との情報が交わされた。

15日午前6時半、県、県警、自衛隊などによる第1回豪雪対策連絡会議が開かれ、応急対策などが協議された。各地域からの状況報告に従い午前11時20分、陸上自衛隊第1師団へ災害派遣要請が出された。翌16日午後1時、知事、政府の災害連絡会議にテレビ電話で参加し支援を要請。

翌17日午前9時45分、県が「災害対策本部」を設置。同日午後1時半、政府調査団が来庁し知事から首相宛の要望書が渡された。

この間、県連は「15日以来の状況を踏まえ、雪害対策を的確、迅速、効果的に進めるため」として、県との連絡を緊密に保ちながら、所属国会議員、県議会議員らによる対応を協議、県と合わせて「自民党山梨県連雪害対策本部」を設置した。

政府与党である自民党の県組織の立場から、党本部への支援要望で県の対策をバックアップすることとなった。